

「2025年大阪・関西万博」堺プロジェクトチーム 第4回全体会議 議事要旨

○日時 令和6年5月2日（木）14:30～15:20

○場所 堺市役所本館地下1階 職員会館大会議室

○主な出席者

堺市：

市長、市長公室長、政策企画部長、政策企画部部理事、文化観光局長、観光部長、文化国際部長、産業振興局長、産業戦略部長、建築都市局長、都心未来創造部長、建設局長、サイクルシティ推進部長

経済団体等：

堺商工会議所会頭、堺商工会議所専務理事、堺商工会議所常務理事兼事務局長、公益社団法人堺観光コンベンション協会専務理事兼事務局長、株式会社さかい新事業創造センター代表取締役専務、公益財団法人堺市産業振興センター副理事長

○議事概要

会議の開催に先立ち、永藤市長、葛村堺商工会議所会頭から挨拶があり、その後、事務局から万博開催前における具体的な取組や指標の考え方について説明したのち、会議出席者間で意見交換が行われた。

意見交換を通じ、取組の進捗を速やかに把握する指標の必要性を確認した。また、万博会場でのPRと連携した市内誘客の取組のほか、外国人観光客へのPRや受入態勢など、具体的な取組を整理し、次回の全体会議に示すことを確認した。

【永藤市長挨拶要旨】

いよいよ開催まで1年を切った。この間「2025年大阪・関西万博」堺プロジェクトチームにおいて、開催効果を堺に最大限波及させるために協議を進めてきた。

大阪・関西万博は、世界の方々に堺の類いまれな歴史文化や伝統産業のほか、未来へ挑戦する行政や事業者の取組などを知っていただく絶好の機会となる。また、次代を担う子どもたちにとっても様々な価値を知り視野を広げる貴重な機会でもある。今後は、万博を知ってもらうだけでなく、万博へ行きたいと思ってもらうための取組が重要。

経済団体も参加するこの全体会議を定期的で開催し、効果的な取組となるよう常に見直ししながら、堺に最大限の開催効果をもたらせるよう力を尽くしたい。

【葛村堺商工会議所会頭挨拶要旨】

万博を契機にどのように堺市を訪れてもらうか考えなければならない。私が名誉領事を務めるチェコ共和国においても25団体の来日が予定されており、このような方々に堺へ来訪していただく具体的な取組が必要。

実際に万博会場を訪れば、感動し、もう一度行きたいと感じるだろう。市民が万博会場を訪れることで、堺に良いフィードバックが返ってくる。万博会場の視察等で実際に見て感じたことを市民に伝えていくことが必要ではないか。

このプロジェクトチームの取組に大きく期待している。堺商工会議所としても、市内企業のオープンファクトリーをはじめニーズに即した対応をしたい。

【事務局からの説明】

①2025年大阪・関西万博に向けた取組について

②フェーズ1（万博開催前）における具体的な取組及び指標の考え方について

【主な意見】

・具体的かつ効果的な数値目標を早急に設定する必要がある。また、進捗状況を的確に把握できる手法の検討も重要。

・万博会場前この時期に、市民の皆様の来場意欲を高める取組が必要。

- ・海外での堺市の認知度は低く、堺を知ってもらうための工夫が必要。特に海外の方は万博会場へ 30 分という堺の立地もご存じでなく、茶の湯や伝統産業などの魅力とともに PR すべき。
- ・PR したいものと来訪者が望むことが一致しないことも多い。この機会に、どのような PR が効果的なのかのマーケティング分析も重要。
- ・市民の皆様それぞれが自信を持って堺の魅力を発信いただけるような取組も必要。
- ・市内企業の皆様からの発信も重要。万博会場中に企業交流会やセミナー等、オープンファクトリーなどの受入環境を整備し、発信することで、来場者が堺を訪問する機会を創出すべき。
- ・万博国際交流プログラムなどを活用し、万博参加国の関係者に堺を訪問していただく取組の検討も必要。
- ・外国人観光客向けに、飲食店等の多言語支援やハラール、ヴィーガン等の情報発信等の強化も重要。